

分野
計画

都市計画
マスタープラン

道路交通環境の整備

- 道路ネットワークの強化
- 生活道路の交通安全対策

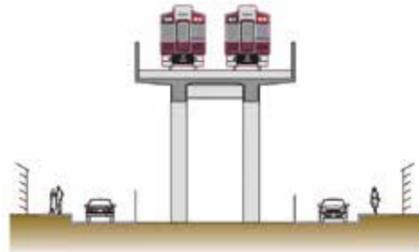
移動の円滑化の推進

- 公共交通の確保・維持
- 自転車活用の推進
- 違法駐車・駐輪の防止
- 交通安全の推進

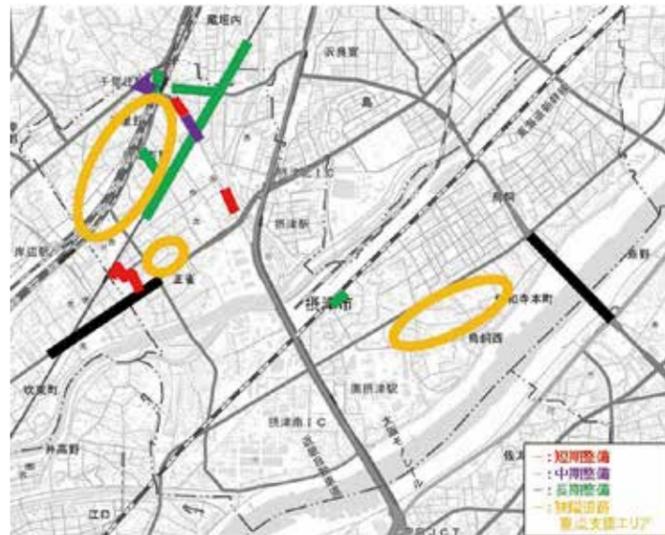


踏切除却の推進

- 連続立体交差事業の推進



今後の道路整備の進め方



指標 (KPI)

重要業績評価指標	基準値	目標値 (令和7年度)
交通事故件数	346件	288件
阪急電鉄京都線 (摂津市駅付近) 連続立体交差事業	用地取得着手	鉄道工事推進
「摂津市は自家用車を利用しなくても移動しやすいまちだと思う」と回答した市民の割合	30.4% (令和2年度)	30.4%
自転車ネットワーク路線整備率	0%	59.0%

都市整備
2-2

道路・交通



基本
方向

市域全体の道路ネットワーク整備を進めるとともに、少子高齢化等の社会状況を踏まえた公共交通を維持確保し、誰もが安全で快適に移動できる交通環境をめざします。

現状と課題

安心・安全な道路環境づくり
本市域の広域道路ネットワークを構成する大阪高槻京都線、大阪中央環状線、大阪高槻線は慢性的に渋滞しており、その抜本的な改善のため十三高槻線の一日も早い全線完成が望まれます。また、本市の生活道路は狭隘な箇所が多く、歩行者の通行空間の確保等、交通安全対策を進めていかなければなりません。そのため、生活道路から地域を結ぶ幹線道路まで計画的かつ総合的に整備を進めていく必要があります。また、橋梁や舗装、街路灯等の道路施設は老朽化が進んでいるため、点検結果に基づいて優先度を整理し、効率的かつ計画的な維持管理を行う必要があります。

開かずの踏切の解消

千里丘三島線は、開かずの踏切等により、慢性的に交通渋滞が発生しています。そのため、

鉄道・駅舎を高架化し、5か所の踏切を一挙に除却する阪急京都線連続立体交差事業の早期完成をめざし、取組を進めていく必要があります。

コンパクトなまちの公共交通・自転車利用

路線バスや公共施設巡回バス等の地域公共交通は、市民の重要な移動手段であり、人口減少や少子高齢化等の社会環境の変化に合わせて、確保・維持に向けた取組を進めていく必要があります。また、コンパクトで平坦な街の特性から、本市では多くの市民が自転車を利用しており、安全・安心な自転車ネットワークの形成を図る必要があります。

